

問1 関東平野の台地に広く分布している、かつての火山活動によって放出された火山灰が偏西風で運ばれ、長い年月をかけて堆積した赤土の地層を何と呼びますか。 (2024年 岐阜県公立入試 類似)

1. シラス
2. 沖積層
3. マサ土
4. 関東ローム層

問2 群馬県などの北関東や東海地方の工業都市では、南アメリカ出身の在留外国人が多く生活しています。これらの地域で、公共施設の案内板や広報誌が「日本語」と「ポルトガル語」で併記されている主な理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 鳥取県公立入試 類似)

1. 経済連携協定（EPA）に基づき、看護師や介護福祉士の国家資格取得を目指す東南アジア出身者が急増したため。
2. 技能実習制度の拡充により、農業や漁業の技術を習得するために南アメリカ諸国から多くの若者が来日したため。
3. 1990年の入管法改正によって就労制限のない日系人の受け入れが始まり、ブラジルからの労働者が工業地域に定住したため。
4. 高度経済成長期に、石炭から石油へのエネルギー革命の影響で失業した海外の炭鉱労働者を積極的に受け入れたため。

問3 茨城県における農業の特徴を説明した次の文のうち、その背景や実態について述べたものとして正しいものはどれですか。 (2023年 東京都公立入試 類似)

1. 冬の温暖な気候を活かし、きゅうりなどの収穫時期を通常より早める促成栽培が中心である。
2. 施設栽培によりピーマンなどを年間通して生産し、東京までの輸送利便性を活かして出荷している。
3. 夏の冷涼な気候を利用して、レタスなどの高原野菜を都市部に向けて出荷している。
4. 広大な平野を利用し、機械化を進めることで、主にごぼうなどの根菜類を大規模に輸出している。

問4 茨城県や千葉県、群馬県などの関東地方の各県で行われている農業は、東京都という巨大な消費地に隣接または近接している利点を活かしています。この地域で行われる農業が、遠方の産地と比較して経営面で有利であるとされる主な理由として、最も適切な説明はどれか。 (2026年 福島県公立入試 類似)

1. 広大な土地を利用して、機械化を大規模に進めることで、小麦や大豆などの穀物を低コストで大量に生産できる点。
2. 標高の高い地域の冷涼な気候を活かして、他の産地の出荷が終わった夏から秋にかけて野菜を出荷できる点。
3. 消費地までの距離が短いため、輸送費を抑えることができ、収穫したばかりの新鮮な農産物を出荷できる点。
4. ビニールハウスや温室などの施設を利用することで、自然の条件よりも早い時期に収穫し、品薄な時期に高値で販売できる点。

問5 関東地方の農業統計によると、茨城県はピーマン、ほうれん草、はくさい、レタスといった野菜の生産において全国でも有数の規模を誇っています。この地域で野菜生産が盛んになった理由として、地理的な背景と流通の仕組みから説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2024年 福井県公立入試 類似)

1. 大消費地までの距離が近いこと、輸送費を抑えながら鮮度を保ったまま出荷できるから。
2. 冬でも温暖な気候を利用して、ビニールハウスなどを用いて出荷時期を早める工夫をしているから。
3. 標高の高い地域が多く、夏でも涼しい気候を利用して他の地域より遅い時期に出荷できるから。
4. 土地価格が非常に安く、広大な農地を確保して穀物生産に特化することが容易だったから。

問6 日本の近代化や文化の伝来について述べた次の記述のうち、ペリーの来航地である浦賀や、開港場となった横浜を擁する都道府県に該当する説明として最も適切なものを選びなさい。 (2016年 山口県公立入試 類似)

1. 正岡子規が野球用語を日本語に翻訳した地として知られ、幕末にはペリーが来航したものの開港は拒否し続けた歴史を持つ。
2. 1915年に豊中市で最初の全国中等学校優勝野球大会が開催されるなど、古くからスポーツが盛んで全国最多の優勝回数を誇る府県である。
3. 明治以降の日本の主力輸出商品であった生糸の生産地として知られ、横浜港へ生糸を送り出す鉄道網が最初期に整備された内陸の県である。
4. 1870年代に野球などの西洋文化がいち早く伝えられた地であり、県内には現在も日本を代表する貿易港である横浜港が位置している。

問7 成田国際空港などの拠点で行われる「航空貿易」において、半導体などの電子部品や医薬品が主要な取引品目となっている理由として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 千葉県公立入試 類似)

1. 航空機は船舶に比べて一度に大量の物資を運べるため、輸送コストを最小限に抑えられるから
2. 製品が重量のわりに価格が高い「高付加価値」なものであり、輸送時間の短縮が重視されるから
3. 国内の港湾施設が老朽化しており、精密機械を安全に積み下ろしすることができないから
4. 製品の形が複雑であり、船舶のコンテナに積み込むことが技術的に困難だから

問8 関東地方に位置する茨城県は、野菜の産出額が約1890億円という非常に高い数値を記録しています。このように、巨大な消費地である東京などの首都圏への近さを活かし、新鮮な野菜を大量に供給する農業の形態を何と呼びますか。 (2019年 三重県公立入試 類似)

1. 抑制栽培
2. 施設園芸
3. 近郊農業
4. 促成栽培

問9 明治政府が日本の近代化を推進するために、最新の機械と技術を導入して群馬県に設立した施設について説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。 (2020年 秋田県公立入試 類似)

1. フランスの技術を導入して建設された官営模範工場である富岡製糸場。
2. 長崎県に設置され、鉄鋼の国産化を目的とした官営の八幡製鉄所。
3. 北海道の開拓を目的として、屯田兵の居住区に併設された大規模農場。
4. 石見銀山遺跡の一部として、銀の精錬技術を全国に広めた施設。

問10 埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県 の4都県を比較した統計資料において、東京都の「昼夜間人口比率」が118.1%であるのに対し、周辺3県はいずれも100%を下回っています。この数値の差が示している地域間の人口移動の実態について述べたものとして、正しいものはどれですか。 (2017年 徳島県公立入試 類似)

1. 東京都は周辺県から通勤・通学者の流入がある一方で、周辺3県は東京都などへ流出する人口の方が多い。
2. 周辺3県には大学や事業所が東京都よりも集中しているため、昼間に周辺3県へ向かう人が東京都よりも多い。
3. 東京都は夜間人口が昼間人口よりも多いため、周辺3県に比べて夜間の電力消費量が極めて多い。
4. 周辺3県は東京都よりも地価が高いため、夜間に東京都へ戻って就寝する人が多くなっている。

問11 京浜工業地帯に位置する神奈川県において、製造業が盛んで製造品出荷額等が非常に高い水準にあるにもかかわらず、全就業者数に占める第3次産業の割合が約78パーセントと突出して高くなっている理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 愛知県公立入試 類似)

1. 広大な平野を活用した大規模な稲作が行われ、そこから得られた収益がすべて観光業に再投資されたため
2. 人口が密集しており、都市化の進展に伴って商業やサービス業、企業の管理部門などの機能が高度に集積しているため
3. 県内の大部分が山地で占められており、平地における工業生産を断念してIT産業への特化を進めたため
4. 伝統的な手工業が衰退した代わりに、海外からの輸入商品を専門に扱う物流拠点が県内の全産業を追い越したため